

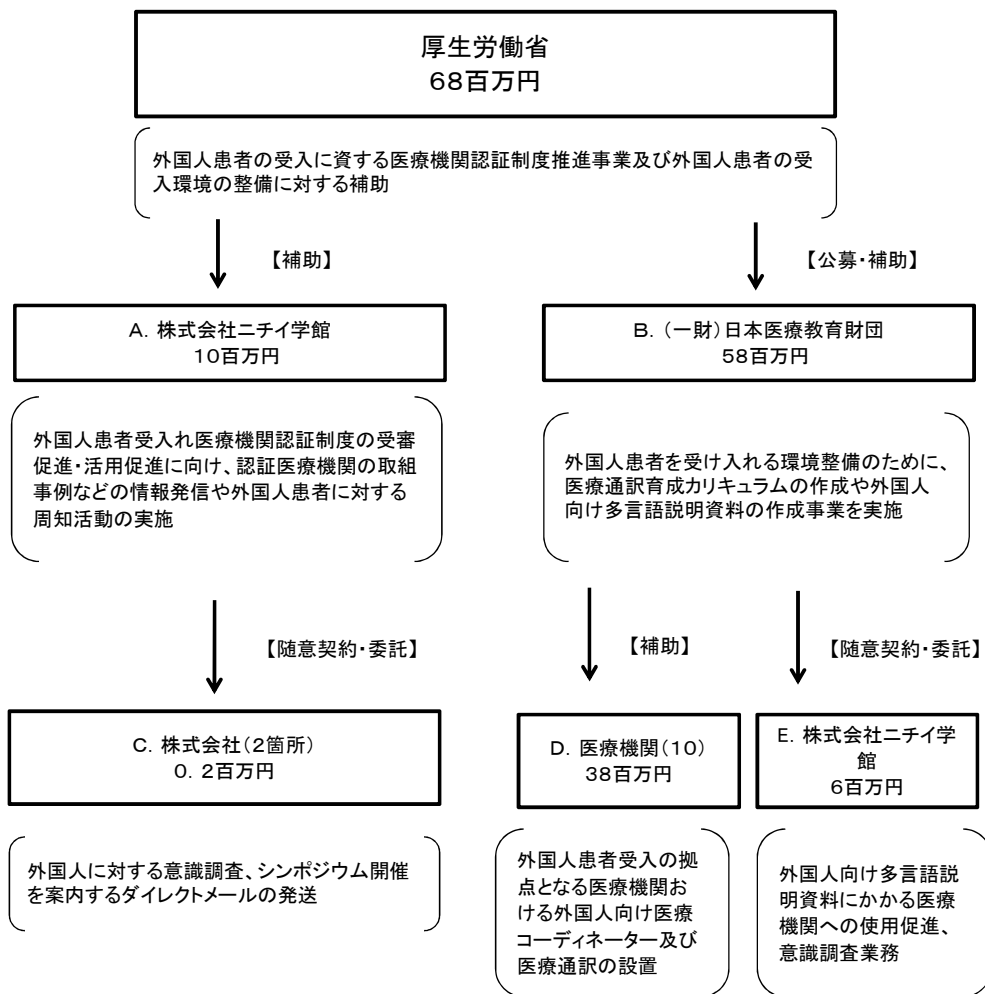
平成27年度行政事業レビューシート

(厚生労働省)

<b>事業名</b>	外国人受入医療機関認証制度等推進事業			<b>担当部局庁</b>	医政局	<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始年度</b>	平成23年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	総務課	課長：土生 栄二	
<b>会計区分</b>	一般会計			<b>政策・施策名</b>	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること		
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	-			<b>関係する計画、通知等</b>	平成23年3月31日付厚生労働省発医政0331第31号「医療施設運営費等補助金及び中毒情報基盤整備事業費補助金の国庫補助について」		
<b>主要政策・施策</b>				<b>主要経費</b>	社会保障		
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	外国人患者を受入れる医療機関の認証制度の整備等を行うことにより、外国人患者を受け入れる医療機関の質の確保を図ることを目的とする。						
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	①国際医療交流を推進する観点から、本制度を普及させ軌道に乗せるための認証機関に対する支援を行う。 ・既に外国人患者受入の実績を有する主な病院の状況調査 ・当該病院を複数回利用している者のニーズ等の把握 ・審査予定の医療機関向けの講習会の実施 ・認証(予定)病院に対するコーディネート費用 等 ②外国人患者が、安心・安全に日本の医療サービスを受けられるよう、医療通訳等が配置されたモデル拠点の整備に向け、通訳育成カリキュラム作成や外国人患者向け説明資料の標準化などを図る。						
<b>実施方法</b>	補助						
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>	予算状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求
		補正予算	-	53	-	-	-
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-
		計	14	63	157	141	221
	執行額	14	63	68	-	-	
	執行率(%)	100%	100%	43%	-	-	
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 32年度
	平成32年度までに外国人患者受入認証病院数を30とする。	外国人患者受入認証病院数	成果実績	病院	3	3	2
			目標値	病院	5	6	7
			達成度	%	60%	50%	29%
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 32年度
	平成32年度までに地域の拠点となる医療通訳配置病院を30ヶ所整備	医療通訳配置病院数 ※本事業は平成26年度から開始したものであり、24・25年度の実績はない。	成果実績	病院	-	-	10
			目標値	病院	-	-	10
			達成度	%	-	-	100%
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	外国人向けパンフレット作成枚数	活動実績	枚	5,000	9,000	9,000	
		当初見込み	枚	5,000	9,000	9,000	
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	外国人向け説明資料作成数 ※本事業は平成25年度から開始したものであり、24年度の実績はない。	活動実績	部	-	188	188	
		当初見込み	部	-	188	188	
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	$\text{単位当たりコスト} = \frac{X}{Y}$ X:「交付決定額の合計」 Y:「外国人受入医療機関認証病院数+医療通訳配置病院数」	単位当たりコスト	百万円	4.5	21	5.7	8.3
		計算式	X/Y	14百万円/3病院	63百万円/3病院	68百万円/12病院	141百万円/17病院
<b>取(単位:百万円)</b>	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由			
	医療施設運営費等補助金	141	221	・「新しい日本のための優先課題推進枠」221 ・「医療機関における外国人患者受入環境整備事業」について、病院内資料や案内表示、ホームページの多言語化等の整備支援にかかる増。			
	計	141	221				

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	外国人が安心して日本の医療機関を受診できる環境整備は日本再興戦略等に掲げられた事業であり、社会のニーズを的確に反映している。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	外国人が安心して日本の医療機関を受診できる環境整備は日本再興戦略等に掲げられた事業であり、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	外国人が安心して日本の医療機関を受診できる環境整備は日本再興戦略等に掲げられた事業であり、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	企画競争を実施し、事業者を選定している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	必要最低限の経費のみを計上しており、妥当である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	事業の実施に必要最低限の経費しか計上していないため単位あたりコストの削減は困難であるが、引き続きコスト削減に努める。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	業務の適切な実施のため合理的なものとなっている。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	費目、使途については、人件費等必要最低限としている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		△	医療通訳配置病院における必要経費が当初の予想より下回ったため。	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	事業の実施に必要最低限の経費しか計上していないため単位あたりコストの削減は困難であるが、引き続きコスト削減に努める。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	成果目標を達成している。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	成果実績からみて実効性の高い手段といえる。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込みにあった活動実績となっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	各地域で外国人患者対応に活用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	外国人が安心して日本の医療機関を受診できる環境を整備するため、 ・認証制度について普及啓発活動を行った結果、24年度時点で3病院だった認証病院が26年度時点で8病院となった。 ・平成26年度には医療通訳や医療コーディネーターが配置された医療機関が10病院となった。			
	改善の方向性	外国人が安心して日本の医療機関を受診できるよう、認証病院が増加するよう、また医療通訳等配置病院の整備を引き続き事業を進めていく。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の一部改善	外国人患者受入認証病院数の成果実績が成果目標に対し、低調に推移している要因を分析し、執行率の改善を図ること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
執行等改善	外国人患者受入認証病院数を増加させるため、院内資料・案内表示・ホームページの多言語化等の整備支援を概算要求に盛り込むこととしている。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	新23-0002	平成24年度	848
平成25年度	24	平成26年度	23		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.株式会社ニチイ学館			E.株式会社ニチイ学館		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	職員給与費	3.3	人件費	説明資料の使用促進・意識調査等業務	6
旅費	事務局員旅費	2.2			
使用料及び賃借料	会場借料	2.2			
報償費	アドバイザー謝金	1.2			
役務費	通信運搬費、雑役務費	0.5			
需用費	消耗品費、印刷製本費、会議費	0.5			
委託料	ダイレクトメール発送等委託費	0.2			
計		10.1	計		6
B.一般財団法人日本医療教育財団			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	外国人患者の受入環境整備推進に係る補助	37.7			
人件費	職員給与費	9			
委託料	説明資料事業委託費	6			
使用料及び賃借料	会場借料等	2.2			
旅費	事務局員旅費	1.7			
需用費	消耗品費、印刷製本費等	1			
役務費	通信運搬費、雑役務費	0.4			
報償費	委員謝金	0.1			
計		58.1	計		0
C.株式会社ビジネススペース			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	ダイレクトメール発送	0.2			
計		0.2	計		0
D.聖路加国際病院			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	医療コーディネーター及び医療通訳の設置	10.6			
計		10.6	計		0

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社ニチイ学館	外国人患者受入れ医療機関認証制度の受審促進・活用促進に向けた事業の実施	10	-	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般財団法人日本医療教育財団	医療通訳育成カリキュラムの作成、外国人向け多言語説明資料の作成	58	8	-

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社ビジネススペース	ダイレクトメール発送	0.2	随意契約	-
2	ひとみ印刷所	アンケート印刷	0	随意契約	-

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	聖路加国際病院	医療コーディネーター及び医療通訳の設置	10.6	-	-
2	札幌東徳洲会病院	医療コーディネーター及び医療通訳の設置	8	-	-
3	藤田保健衛生大学病院	医療コーディネーター及び医療通訳の設置	6	-	-
4	りんくう総合医療センター	医療コーディネーター及び医療通訳の設置	3.4	-	-
5	湘南鎌倉総合病院	医療コーディネーター及び医療通訳の設置	3.1	-	-
6	独立行政法人国立国際医療研究センター病院	医療コーディネーター及び医療通訳の設置	2.4	-	-
7	千葉西総合病院	医療コーディネーター及び医療通訳の設置	1.5	-	-
8	九州大学病院	医療コーディネーター及び医療通訳の設置	1.5	-	-
9	独立行政法人地域医療機能推進機構横浜中央病院	医療コーディネーター及び医療通訳の設置	1	-	-
10	大阪大学医学部附属病院	医療コーディネーター及び医療通訳の設置	0.2	-	-

E

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社ニチイ学館	説明資料の使用促進・意識調査等業務	6	随意契約	-